

会 議 議 事 録 (要旨)

会議等の名称	令和2年度第3回磐田市子ども・子育て会議
担当部課名	こども部こども未来課
開催日時	令和3年3月19日(金) 14:00~16:00
開催場所	ひと・ほんの庭 にこっと2階 視聴覚室
出席者	出席委員(敬称略9人) 漁田 俊子、鈴木 敏弘、間湊 恵梨佳、山下 健太郎、望月 沙登美、 鈴木 将弘、江塚 会里、小野田 樹、村松 史紀 事務局(9人) ・こども部長 鈴木壮一郎 ・こども部 幼稚園保育園課 課長 川島光司、課長補佐 伊藤里香 総務G G長 三谷昌史 こども未来課 課長 伊藤修一、課長補佐 高杉順也 こども支援G G長 岡田佐栄子、主任 鳥居良之 主事 清水駿介
議 題	(1) 子育て支援センター運営方針(案)について (2) 利用定員の変更及び令和3年度の計画について (3) その他報告
配付資料等	資料1 磐田市子育て支援センター運営方針(案) 資料2 利用定員の変更及び令和3年度の計画について その他資料

1 開会	
2 議題等	
会長	議題1「子育て支援センター運営方針（案）について」です。では、事務局から説明をお願いします。
事務局 （こども未来課）	事務局説明 （資料1：磐田市子育て支援センター運営方針（案）） （追加説明資料：子育て支援センターに案内表示を設置について）
会長	事務局からの説明について、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。
委員	子育て支援センターへの入りにくさってというのは、私もかつて利用させていただいたときに感じていました。最近、竜洋地区の「こどもの家」を利用した際に、施設の外側と内側に案内表示が設置されていましたので、すごくわかりやすく、入りやすくなったと感じました。
会長	ありがとうございました。
委員	先ほどもありましたが案内表示が設置され、わかりやすくなってよかったです。この案内表示が子育て支援センターのものだということが、行ったことがない人にも認識されるような宣伝ができればよいと思います。運営方針は特に意見はありません。
会長	案内表示についてですが、運営方針（案）の基本事業3に「周知を図る」ということも出ていますし、事務局から、それに関連して説明がありましたらお願いします。
事務局 （こども未来課）	この案内表示に使用しているロゴマークや全体のデザインは納得いくまで課内で検討し作成しました。そこに込めた思いや、これが子育て支援センターの表示だということを広報紙、ホームページ、それから支援センターの現場などでしっかりお伝えをして、周知浸透を図っていきます。
会長	ありがとうございました。前回の会議で、磐田市は様々な子育て支援施策に取り組んでいますので、効果的な宣伝、周知の方法があれば

委員	<p>よいという意見がでていましたので、今回のご意見、ぜひ実現していただけたらと思います。</p>
委員	<p>私もこの案内表示のイラストをホームページで拝見しまして、とてもかわいらしいなと思いました。</p> <p>運営方針（案）基本事業4にある、各支援センターの講座についてですが、令和元年度から各支援センターでの講座がなくなってしまいました。各支援センターで実施していると、地区の方々が来やすいですし、防災講座もありましたので、利用者同士の交流ができれば、もし万が一災害などがあったときに、講座であった方ですよねっていう安心感が出来てくるとと思います。各支援センターでの講座を復活していただけると、利用者の方たちも様々な講座に参加できると思います。情報を手に入れられるし、利用者同士の交流、支援センターとの交流、市との交流というのができると思います。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>各支援センターでの講座を一時的にやめた経緯は、ここ数年間で今後の子育て支援センターの運営をどうしていこうかと検討し、模索する中の一つのこととしてやらせていただきました。今後は各センターの特色やノウハウ等を生かして、再開する方向で検討しております。講座の内容については支援センター職員の企画立案や主体性を尊重したいと思っております。</p> <p>しかしながら、今は新型コロナウイルス感染症の問題がありますので、積極的に人を集めるものに関して、いつの時点から取り組みだせるかは未定で、状況を鑑みながらになるかと思えます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症のことがありますので、すぐに再開することは難しいですね。慎重に検討し、対応していただければと思います。</p>
委員	<p>子育て支援センターを利用したことがないので、教えていただきたいのですが、休館日はいつなのか、土日に開館しているセンターはあるのか、また、祖父母と一緒に来ることはありますか？</p>
事務局 (こども未来課)	<p>休館日については何パターンかあります。土日祝休みが多いですが、土曜日に開館している支援センターは来年度オープンする東部を含めて3センターあります。子育て支援総合センター「のびのび」は土日祝も開館しております、休館日は木曜日だけです。</p> <p>開館日や休館日などの子育て支援センターの情報は、広報誌や磐田市</p>

会長	<p>のホームページでも確認いただけます。</p> <p>祖父母とお孫さんでの利用は可能ですし、実際に利用していただいている方もいます。</p> <p>ありがとうございます。静岡県教育委員会でも、家庭教育の中で両親だけではなく、祖父母とお孫さんを結びつけようという試みは、かなり進めています。</p>
委員	<p>運営方針（案）の基本方針と基本事業は、大枠を示すものになっていて、具体性が足りないと思います。各支援センターのそれぞれの事業プランが、周知されていくのかということをお聞きしたいです。</p> <p>また、子育て支援センターで磐田市の子育て関連施策の情報を得ることはできますか。そういうことも支援センターの一つの役目かなと思っています。子育て支援センターに来るとどのような情報を得られるか、お伺いしたいです。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>事業プランについてですが、各支援センターが年度ごとの活動計画書を作成しています。この活動計画書は内部的なもので、一般には公開していません。具体的にどのような活動をしているかは各センターのおたより等で周知を行っています。</p> <p>子育て関連施策の情報提供については、「磐田市内保育園・幼稚園等のご案内」や「いわた子育て情報誌」の配布、「各センターのおたより」や「地域情報が掲載されているチラシ」などの配架をしています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。「相談」というワードが「基本方針」「基本事業」にも入っています。例えば発達や言葉について相談したいという場合に、どのような形で相談できるのか教えてください。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>常に相談できる状態であるため、特定の相談日は定めていません。相談の内容によっては、地区の保健師、栄養士、発達支援センター「はあと」、こども若者相談センターに繋げることで親とのつながりを持たせています。これらの機関と支援センターで連携をとりながら相談業務を実施しています。</p> <p>子育て支援センターは、子どもを遊びに連れてくる、居場所づくりで来る、友達づくりで来るなど様々な目的があります。その中で、支援センター職員にさりげなく不安を打ち明けると、センター職員がそれをキャッチして相談にのる。もしくは、その方には何が必要なのか</p>

会長	判断し専門機関に繋ぐ、という形で支援を行っています。
委員	<p>ありがとうございました。基本事業の2にあるように、気軽に相談していただき、必要に応じて、専門機関に繋ぎ、継続的に支援していくことを目的としていることがわかりました。</p> <p>他にご意見、ご質問がある方はいますか？</p>
会長	ありがとうございました。
委員	<p>子育て支援センターは外国人の利用もあるかと思しますので、統一デザインで、この場所は子育て支援センターだとわかるようになったことは、いいことだと思います。</p> <p>今月の広報に案内表示が掲載されていて目にしました。子育て支援センターに来る子どもは、このマークで遊び場だということを認識すると思います。お母さんを後押しするのは子どもの言葉になりますので、このマークが子どもにも浸透して、利用が促進されたらいいと思います。</p> <p>今後の課題としては、自分の子供が小さかった頃を思い出した時に、園併設型の子育て支援センターは駐車場の台数が限られている問題や、防犯対策で実施している門扉のチェーンの外し方がわからないなどの、案内表示以外の入りにくさも感じていましたので、そういったところも解消されたら良いと思いました。</p> <p>また、乳幼児期の子育て支援は、保育園、幼稚園、こども園、子育て支援センターが整備されてきて、保護者が行政に手を差し伸べられる場があると思いますが、次のステップの小学校1年生以降も、保護者の子育てに関する悩みはたくさんありますので、磐田市の子育て支援をさらに充実してほしいです。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>小学生以降の支援について、ご意見をいただき、そのとおりだなと思いました。今年度の子ども・子育て会議では、子育て支援センターに時間を割いてご審議いただき、感謝をしています。この会議は、18歳未満の子ども・子育て支援を総合的に検討していくことになっておりますので、後ほど説明させていただく「子ども・子育て支援事業計画」に基づいて1年間実施してきた政策の報告を行い、皆様にご意見をいただこうと思っています。その計画を見ていただければ、乳幼児期以降の子育て施策を検討していかなければならないというところも分かっていたかと思うと思います。この会議でも必要に応じて、学齢期</p>

	<p>のことを詳しく説明できるように事務局も準備して、充実させていこうと思っておりますので、ご理解ください。</p>
会長	<p>次に、議題2「利用定員の変更及び令和3年度の計画について」です。では、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (幼稚園保育園課)	<p>事務局説明 (資料2：利用定員の変更及び令和3年度の計画について)</p>
会長	<p>ありがとうございました。 委員の皆様、ご意見ご質問はありますでしょうか？</p>
委員	<p>第2期磐田市子ども・子育て支援事業計画とも関連してくると思いますが、今後支援が必要な園児が増えていくと思います。この状況に対応するため、保育士と施設面積について、今後どのように確保していく予定になっているか、教えていただきたいです。 また、第2期磐田市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度実績を見ると利用定員が少なくなっている幼稚園がありますが、理由を教えてください。</p>
事務局 (幼稚園保育園課)	<p>保育士の確保につきましては、公立園だけでなく私立園も含めて取り組んでいます。市では令和3年4月から正規職員を6名採用しており、令和4年度は3名の採用を計画しております。今回ご案内したとおり、竜洋西保育園と竜洋北保育園の民営化により、市で任用している保育士に30人ほど余裕が出ますので、支援が必要な子どもや預かり保育などのサービスに充てていきます。 支援が必要な子どもの対応についてですが、磐田市では子どもの発達支援について検討するプロジェクトチームを庁内に立ち上げて議論を進めております。子どもの発達については、1歳6か月児健診で発達の遅れを確認し、そこから3歳に至るまでに、その親子へのアプローチやケアをいかに手厚くできるかが重要であり、それが年長や小学校に上がったときに、大きく支援が必要になるかに関わってきます。親が自分の子どもの発達について受容し、今の段階で支援を受ければ、将来的に良い方向へ進むことを見える化し、全体的に支援が必要な子どもの数を減らしていくことを計画しています。 また、ご心配いただいている利用定員の変更についてですが、1クラスの人数は国の面積基準で決まっています。補助金をもらった当時は待機児童数が多かったため、1クラスで、できるだけ多い人数を</p>

委員	<p>預からなければいけない状況でした。現在は、子どもにとって良い保育環境になる人数で運営が行える状況になりましたので、部分的に調整をさせていただきました。全体の保育枠からすると、ある程度余裕を持った中で運営を行っていきます。</p>
会長	<p>1歳6か月児健診から3歳児健診までの期間のフォローは重要だと思います。</p> <p>また、保護者の感覚として、我が子の発達の遅れを認めることに対し非常に抵抗がある方もいますし、逆に認められたことで安心する親もいるということを聞いております。その親支援についても、どのような方法で実施していくかも重要なポイントだと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>発達支援に関しては待機されている方が多く、病院でも3か月4か月待ちという現状を把握しながらも、発達支援にとって早期療育は本当に必要だと思います。それを踏まえて、市の発達支援プロジェクトがあると思いますし、私たちも協力していきたいです。</p> <p>発達支援に関する保護者の受け取り方、受容の度合い、スピード感は違う中でも、そこに寄り添うことは必要ですし、早く療育することで、次のステップアップ、就学に向けての動きが変わってくると思います。</p>
会長	<p>豊田南保育園の利用定員の変更についてですけど、3歳未満児の保育ニーズが非常に高いため、0歳児～2歳児の人数をそのままにしていて、3歳児～5歳児の人数を調整し、質を高めるという考え方はいいかなと思います。</p> <p>全体的には、小規模保育所が増えていきますので、小規模保育所を卒園する3歳以降の保育枠をしっかりと確保していただければと思います。</p>
委員	<p>私は子育てや発達支援について月に1回、勉強会をしています。最近は働くお母さんが増えていまして、産休・育休の期間がとても短く、産休に入る前から保育園を探している場合もあり、お母さん自身、余裕がない方やストレスにさらされている方が多い状況です。生まれる前の母親の健康状態が、子どもにも影響するという話を聞きましたので、子どもが生まれる前のお母さんたちの支援も必要だと思います。私の感覚的なところですが、多忙な母が増えていることと比例して発</p>

会長	<p>達支援が必要な子どもの人数が増えている気がしますので、出産前から母親の支援が必要だと感じました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>発達支援でよく言われる早期介入を、とても早い段階で実施し、出産前から環境を整えていくというお話でした。</p> <p>続いて議題3の①「子どもカルテ」のシステム化・包括的相談ネットワークの整備についてです。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (こども・若者相談センター)	<p>事務局説明（資料なし）</p> <p>こども・若者相談センターでは、こども相談、女性相談、若者相談の3事業を行っていますが、児童虐待関係のこども相談について、「子どもカルテ」というシステムを令和3年度に構築します。磐田市独自のものではなく、全国の自治体で情報を共有できる、全国统一システムとなっております。この背景といたしましては、過去に自治体間の連携不足で防げなかった児童虐待の事件があり、これを重く受け止め、自治体間の連携を強固なものにするために、全国的なシステム構築することになりました。</p> <p>磐田市においては全国的に必要とされている要件からプラスして、母子保健等の情報についても連動し、システム化する予定です。このことにより市内の子どもを検索すると、どこの部署がいつ、どのような対応したかという情報が現在のシステムよりわかりやすくなります。今後の予定につきましては令和3年7月ごろに業者選定を行いまして、令和4年1月ごろからの稼働を予定しています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。このことについて、ご意見ご質問はないようですので、次に進みます。②子育て支援センター「たっち」落成式についてです。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>事務局説明 (追加説明資料：子育て支援センター「たっち」落成式について)</p>
会長	<p>ありがとうございました。このことについて、ご意見ご質問はないようですので、次に進みます。③「第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画」進捗状況について事務局から説明をお願いします。</p>

事務局 (こども未来課)	事務局説明 (資料：第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画 令和2年度実施状況について)
会長	<p>ありがとうございました。内容が多岐にわたるため、ご意見ご質問は後日でも構わないということでしたので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは定刻となりましたので、最後のご意見とさせていただきます。よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>子育て支援センターなどの存在を子育て世代の家庭にいかにして知らせていくかが、今後のポイントになると思います。親子が孤立することで、命を落としてしまう事件に繋がることがありました。子育て支援センターなどに顔を出して、相談していれば、ほかの道があったかもしれません。子育て世代の家族を孤立させないような方向に今後、行政がどういうふうを持っていくかという点が気になります。</p> <p>また、最近の保護者はスマートフォンでインターネットやSNSを活用し、情報を得ていることが多いです。現在のコロナ禍の社会、コロナが収束した後の社会を想定して、情報をいかに発信していくかが重要だと感じています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ちょうど時間になりましたので、以上をもちまして本日の会議は終わりたいと思います。それでは事務局にお返しします。</p>
4 事務連絡	<p>委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>来年度の会議は、全3回を予定しております。日程等決まり次第、連絡をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>今年度最後の会議となりますので、こども部長からあいさつ申し上げます。</p>
5 部長あいさつ	<p>全3回の子ども・子育て会議、忌憚のないご意見をいただきましてありがとうございました。</p>
6 閉会	